

京都市の目指す子ども像
「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

京都市 令和5年度重視する視点
子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める

令和5年度 紫明小学校 学校経営基本構想

学校教育目標

ともに ～認め合おう 学び合おう 創り上げよう～

<目指す子ども像>

- ① しっかりあいさつする子（人とのつながりを大切にし、お互いの良さを認め合う）
- ② を見て聞く子・話す子（相手の思いも自分の思いも大切にし、お互いに学び合う）
- ③ いっしょにがんばる子（協力することを大切にし、ともに創り上げる）

<確かな学力>

- *校内研究を基盤にした「学び合う子」の育成
- *子どもを主体とした授業デザイン
 - 対話を通した共に学び合う子の育成、基礎となる主権学習、「きく」姿勢の系統
- *ユニバーサルデザインの実践的取組
 - スマイル教室と連携した個に応じた学習支援
 - 教科担任制による複数の支援者からの見取り
- *探究活動を通した主体的・対話的で深い学び
 - 総合的な学習の時間の充実・系統
- *教育の情報化に向けた取組
 - GIGA スクール構想の具体的実践
- *基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
 - 授業と家庭学習の連動の工夫、習慣化
- *グローバル化時代に対応する実践的英語活動
 - 音楽SS、英語専科・ALTによる専門性を活かした授業、TTの具体的活用、学校図書館の活用

学 校

<豊かな心>

- *規範意識の育成
 - 児童会のあいさつ運動、情報モラル教室、非行防止教室の実施、子どもの成長を共有する家庭との連携
- *支え合い高め合う集団作りの推進
 - 児童会活動の充実、たてわり活動によるリーダーの育成、自己有用を感じる機会創出
- *多様性を理解する姿勢の育成
 - 人権教育・包括的セクシュアリティ教育
- *「いじめをしない・させない」学級・学校集団
 - 「支える」生徒指導の具体的実践
- *道徳教育の充実
 - 「しなやかな道徳教育」の実践
- *伝統文化・芸術や自然体験を通じ、豊かな感性・情操を育む教育
 - 茶道教室、多文化理解プログラム、宿泊活動、地域との連携の具体的実施

何のために学ぶか
学びをどう生かすか

家 庭

- ・基本的生活習慣の確立
- ・家庭学習の習慣づけ
- ・親子のふれあい・対話
- ・地域行事への参画

<健やかな体>

- *体力の向上と保健教育の充実
 - すいすい遊び、体うごかし大会、生活点検の実施、養護教諭による保健指導、性に関する指導、感染症や病気・けがに対する理解と意識の育成
- *安全教育の充実
 - 避難訓練の徹底、交通教室の実施、安全ノート活用
- *飲酒・喫煙・薬物に関する指導
 - 薬物乱用防止教室の実施、保健学習の徹底
- *食に関する指導の充実
 - 食育授業の実施、食物アレルギー対応の徹底

地 域

- ・地域教育の充実・連携
- ・学校運営協議会
- ・学校教育支援ボランティア
- ・セーフガードこども110番のいえ

<目指す学校像>

- ① しっかりあいさつができ、お互いの良さを認め合える学校
- ② を見て聞く・話すことができ、お互いに学び合える学校
- ③ いっしょにがんばることができ、ともに創り上げようとする学校

<目指す教職員像>

- ① しっかりしたあいさつを基本にして、お互いを尊重し繋がり合える教職員
- ② を見て聞く・話すことを土台にして、お互いに学び合おうとする教職員
- ③ いっしょにがんばることを共有して、ともに創り上げようとする教職員

加茂川中学校ブロック
9年間の学び

子どもの学びの接続

保幼小間の連携